

平成 26 年度 入 試  
個別学力試験問題(後期日程)

総 合 問 題  
(法文学部言語文化学科)

注 意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は 9 ページ, 解答用紙は 2 枚, 下書き用紙は 2 枚です。指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 答えは横書きにしてください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後, 問題紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

1

次の文章を読んで、後の問い（問1～問5）に答えなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(竹田青嗣『エロスの世界像』より。一部改変)

- (注) \*ホイジンガ (Johan Huizinga) : [1872—1945] オランダの歴史学者。  
文化史研究に新生面を開く。
- \*フロイト (Sigmund Freud) : [1856—1939] オーストリアの精神医学  
者。精神分析の創始者。
- \*ユクスキュル (Jakob Johann Uexküll) : [1864—1944] ドイツの理論  
生物学者。

- 問 1 下線部(a)~(e)のカタカナを、適切な漢字に直しなさい。
- 問 2 下線部①について、筆者のいう「子猫から年寄り猫に至るこの変移」とは具体的にどのようなものか。本文に即して説明しなさい。
- 問 3 下線部②について、筆者によると、人間が追求する快樂はどのように変化していくのか。本文にある子供の例を用いて説明しなさい。
- 問 4 下線部③について、筆者によると、なぜ動物は「高度な意味では世界を対象化しない」のか。世界との関わり方をダニと人間の場合で比較しながら、本文に即して説明しなさい。
- 問 5 筆者によると、人間は言葉の世界に入り込むことによって、自己に関してどのような感情を抱くようになるのか、わかりやすく説明しなさい。

2

次の英文を読んで、後の問い(問1～問5)に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)



(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Dominic Cheetham, *Bites of Britain, Tastes of Japan* より。一部改変)

- (注) Anchorage アンカレッジ, 米国 Alaska 州南部の都市  
re-fuel 燃料補給する                      polar 北極の  
air space 領空                                duty-free 免税の  
oasis オアシス, 憩いの場                consumerism 大量消費主義  
yeasty 発酵している                      mother-in-law 義理の母  
jar びん                                        rotten 腐った  
disgusting 胸が悪くなるような

問 1 筆者がアンカレッジ空港を下線部①のように表現するのはなぜか, 本文に即して日本語で説明しなさい。

問 2 下線部②, ③それぞれの“sorry”は, 筆者が何に対して感じるどういう気持ちなのか, 本文に即して日本語で説明しなさい。

問 3 下線部④について, 筆者によるとマーマイトとはどのような食べ物か, 本文に即して日本語で説明しなさい。

問 4 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

問 5 筆者が下線部⑥のように共感を抱く理由を, 本文に即して日本語で説明しなさい。